

12月3日から9日は 障害者週間

○障害者週間とは？

「障害者週間」とは、平成16年6月の障害者基本法の改正により、従来の「障害者の日」(12月9日)に代わる国際障害者デーであり、障害者基本法の公布日でもある12月3日を起点とし、従来の障害者の日であった12月9日までの一週間です。国民の間に広く障害者の福祉について関心と理解を深め、障害者が社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として設定されました。

2市8町(小田原市、南足柄市、足柄上郡、足柄下郡)では、次のとおり障害者文化事業を実施します。今年度は例年行っている作品展・手作り製品の販売や楽器演奏等に加え、ダウン症の女流書家である、金澤翔子さんの作品展示も予定しています。

どなたでもお気軽にお越しください。

第30回 県西地区障害者文化事業 ～つなごうみんなの心～

日時 11月26日(土) 9:30~15:00
場所 小田原市川東タウンセンター マロニエ
内容 作品展、手作り製品販売
交流会
(楽器演奏、ダンス、手話コーラス、よさこい等)
問合せ 中井やまゆり園 ☎(81) 0288

森を守ろう！

間伐体験や 木工体験をとおして 豊かな森で楽しく活動しませんか

間伐をすることで日光が差し込み、下草の育成を促します。そうして豊かな森や川がつけられています！



○小田原久野の森で間伐体験

日時 平成23年12月3日(土)
午前9時(小田原駅西口北条早雲像前集合)
午後4時(小田原駅西口解散)
※現地まではバスで送迎します。
対象 小学4年生以上
※ただし、小学生は保護者同伴
参加費 500円
定員 80名・先着順
持ち物 軍手、お弁当(豚汁配布あり)
申込み 11月18日(金)までに住所・氏名・参加人数・年齢を小田原市環境政策課へ電話でお申込みください。
その他 雨天時は木工体験・工場見学
主催 神奈川西部広域行政協議会

【問合せ】小田原市環境政策課 ☎(33) 1472



川本 仁久さん



大島 豊子さん

「実習で行った施設の利用者のおじいさんと握手した時に感じた手の強さ、たくさんお話しされたおばあさんに会うのを楽しみにしています。」

「私の家族が介護サービスを利用していた経験を生かし、利用者が心穏やかに生活できるように、利用者の目線に立った活動をしたいと思っています。」

【問合せ】

健康福祉課高齢介護係 ☎(83) 1226

新しい介護相談員さんが就任されました

町では、平成13年度から介護相談員派遣事業を実施しています。介護相談員は、介護保険事業者(現在は特別養護老人ホーム5カ所)を定期的に訪問し、事業者と利用者との橋渡し役となり、福祉サービスの充実を図る活動を行っています。今年9月には、発足当初から活動してきた久保博靖さんが退任され、8月に介護相談員養成研修を終了した大島豊子さん、川本仁久さんを新たに介護相談員に

迎え、8名体制で活動していきます。今後、介護相談員は、まだ訪問が実現していない町内の事業所や、近隣市町の介護保険施設へ活動範囲を広げ、利用者の皆さんの意見や要望などを施設へ伝えるサポーターとして活躍していきます。利用者の皆さんが快適に過ごせるよう相談員一丸となって取り組んでいきますので、よろしくお願ひします。

平成23年度 松田町一般会計補正予算の主な内容

一般会計補正予算第7号(平成23年10月4日議決)

— 既定の歳入歳出予算に、3,015万円を追加 —

【広報等強化事業(企画財政課)】	88万円
【町民文化センター自主事業(教育課)】	122万円
【地域福祉推進事業(健康福祉課)】	157万円
【中津川早咲き桜移植委託料ほか(環境経済課)】	160万円
【中里地内生活道路擁壁工事ほか(建設課)】	3,004万円
【スポーツ振興推進事業(教育課)】	222万円
【台風15号災害復旧関連(環境経済課・建設課・教育課)】	595万円
【予備費(企画財政課)】	△1,333万円

平成23年度一般会計予算総括表

(単位：千円)

	当初予算額	補正額合計(第1号~第7号)	補正(第7号)後の予算額
金額	3,960,000	292,047	4,252,047

11月11日(金)から17日(木)は

税を考える週間

第30回 小学生の税の書道展

○展示公開

日時 12月3日(土) 9時~18時
12月4日(日) 9時~17時
会場 小田原市民会館1階・3階ロビー、3階小ホール
展示数 入賞全作品5,593点を展示

○表彰式(松田地区)

日時 12月4日(日)
12時受付、12時30分開会(松田地区)
会場 小田原市民会館大ホール

【問合せ】小田原青色申告会事務局 ☎(24) 2612

税は、社会福祉の充実、住宅や道路の整備、教育の振興など、国や地方公共団体が活動するための大切な財源となっています。国税庁では昭和49年に「税を考える週間」を設け、「税の書道展」などをはじめとした事業や様々なPR活動を行っています。皆さんも、この機会に生活に深く関わる税金について考えてみませんか。